

小学部2年 生活単元学習 学習指導案

日 時：令和4年12月7日（水）

3校時（10：10～10：55）

場 所：小学部2年教室、小学部多目的室

指導者：菅原梨沙（T1） 吉成崇子（T2）

菅生剛基（T3）

1 単元名 「わくわく！にこにこ！2ねんせいのクリスマスランドにようこそ！～いっしょにつくろう、いっしょにあそぼう～」

2 単元の目標

- (1) 身近な材料を用いた制作やそれらを使った遊びを通して制作活動の楽しさを感じ、友達と一緒に活動することの良さに気付くとともに、適切な接し方を知る。 (知技)
- (2) クリスマスランドに友達を呼ぶことに期待感をもち、招待した友達と一緒に楽しめるような工夫をしながら制作することで、自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりする力を育む。 (思判表)
- (3) より楽しいクリスマスランドを目指して、友達や教師に自ら働き掛けたり、友達からの依頼を受け入れたりしようとする態度を養う。 (学人)

3 児童と単元

本学級は、男子5名、女子1名の計6名の児童で構成されている。今年度は転入生が1名加わり、昨年度よりも少し大きな学級集団になった。言葉でのやり取りができる児童が多く、自分から教師や友達と関わろうとしており、意思の表出が少ない児童や苦手な児童においても、学級を自分の居場所だと感じながら友達と過ごしている姿が見られている。一方で、友達とのやり取りにおいて自分の思いを適切に表現できず強い口調になったり、友達よりも教師とのやり取りが中心になったりするなどの課題がある。友達との適切な関わり方を身に付けることで、より良い関係を築き、学級集団としても成長できると考える。

制作活動が好きな児童が多く、身近な素材を使ったおもちゃ作りに昨年度から繰り返し取り組んできている。前単元では新聞紙を中心とした身近にある材料を使って自由に遊ぶ中で、材料の性質や用途を知り、それを生かして遊び道具や遊び場を友達と一緒に制作した。本単元ではその経験を踏まえて「2ねんせいのクリスマスランド」を作る。そして単元の終盤では、他学年の児童を招待して一緒に遊んだり制作したりする機会を設定する。それぞれがイメージするものを具体的に形作っていく過程で、作ることの面白さや形になる喜びを感じてほしい。また、学級の友達とたくさん遊んで心から楽しむ経験を重ねることで、友達と一緒に活動する良さに気付き、他の友達にも教えたい、一緒に遊びたいという思いが生まれると考え、本単元を設定した。

指導に当たっては、以下の点に留意する。

- ・児童が意欲的に取り組むことができるように、制作物や遊びのルール等に児童のアイディアを取り入れる。
- ・児童が安心して参加できるように、遊び場の中に休憩コーナーを設ける。また、教師が誘い掛けて一緒に活動に取り組んだり、友達とのやり取りをつないだりする。
- ・友達同士の自然な関わりが生まれるようにグルーピングを工夫する。
- ・他者に共感的なやり取りができるように、教室に「あいづち あいうえお」を掲示し、日常的に好ましい言葉を使用する機会を増やす。
- ・単元の中で身に付けた知識・技能が生かされるように、必然的に友達と協力できる制作場面を繰り返し設定する。
- ・児童が達成感を味わえるように、サンタの悩みを解決して感謝される経験を重ねたり、良い関わりが見られた際のやり取りを「なかよしことば」として記録、掲示したりする。

4 指導計画（総時数16時間）

小単元名	小単元の目標	主な活動内容	重点を置く 資質・能力			時数	関連する 教科等
			知	思	学		
(1) つくって みよう、 あそんで みよう	<ul style="list-style-type: none"> 新聞紙などを使って遊びながら、材料の性質や扱い方が分かり、つくりだすことの楽しさを感じる。(知技)(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞紙やテープ、袋などの材料を使って、友達や教師と一緒に自由に遊んだり、制作したりする。 	◎		○	2時間	生活 図画工作
(2) 2ねんせ いのクリ スマスラ ンドをつ くろう	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい遊び道具になるように工夫しようとする中で、教師の言葉掛けを受けて、教師や友達に協力を依頼する。(知技)(思判表) 簡単な制作を教師や友達と共同で行おうとする。(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> 遊び道具や遊び場を作る。 写真や動画を見て振り返る。 自分たちが知っていることを表現して、困っているサンタを助ける。 他学年の児童を招待するために、招待状を作ったり、担当するコーナーを決めたりする。 	○	◎	○	10時間 (本時 7/10)	生活 国語 図画工作
(3) 2ねんせ いのクリ スマスラ ンドによ うこそ!	<ul style="list-style-type: none"> 招待した他学年の児童や保護者と遊びながら、自分の役割を果たす。(知技)(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> 他学年の児童や保護者を招待して、一緒に遊ぶ。 	○		◎	3時間	生活 国語
(4) クリスマ スランド だいせい こう!	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返って、友達と活動する良さを知り、達成感や次の単元への期待感をもつ。(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> 写真や動画で、自分たちの様子や招待した児童や保護者が楽しんでいる様子を見て振り返りをする。 			○	1時間	生活 国語

5 本時の計画

(1) 本時の目標

- ・教師の言葉掛けを受けて、友達や教師に協力を依頼したり、依頼を受け入れようとして、友達と一緒に制作する。(思判表)(学人)

(2) 学習過程

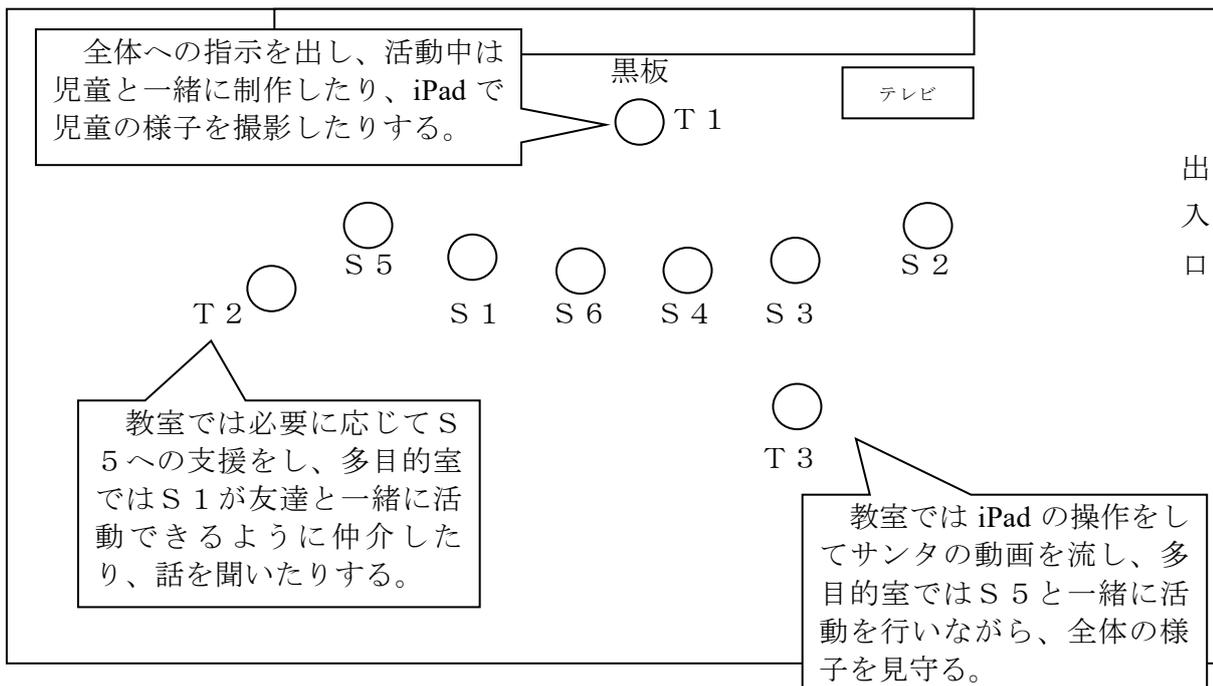
時間	学習活動	手立てと配慮点	評価
10:10 (7)	1 主体的に活動に取り組めるように、はじめの会でめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動やクリスマスランドの完成が分かるように、クリスマスランドの完成図を提示する。 ・本時の活動内容が分かり、意欲的に取り組めるように、困ったり悩んだりしているサンタの動画を流す。 T 3 ・見通しをもって取り組めるように、活動内容やグループ分けを視覚的に示す。 ・めあての意味を児童が考えられるように、これまでの良い関わりについて紹介しながら、児童に問い掛ける。 T 1 	
		めあて：ちからを あわせて ゆきだるまと ころびたツリーを つくろう。	
10:17 (28)	2 友達と協力しながら雪だるまの置物とツリーのゲームを作る。 (1) 多目的室に移動する。 (2) 2グループに分かれて、制作する。 〈雪だるまの置物〉 S 1、S 4、S 5、S 6 〈ツリー型のゲーム〉 S 2、S 3 (3) 教室に移動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・作り方が分かって、友達と一緒に制作活動に取り組むことができるように、繰り返し取り組んだ分かりやすい活動をグループでの制作活動に設定する。 ・友達や教師への依頼の仕方が分かるように、これまでの良い関わり場面を写真で掲示したり、児童同士をつなぐ言葉掛けをしたりする。 T 1 ・S 1、S 4、S 6が協力して取り組めるように、教師がやり取りをつないだり、「なかよしことば」を積極的に使ったりする。 T 2 ・S 2とS 3が協力する必要性を感じられるように、一人で扱うのが難しい材料や作業内容を用意する。 ・S 5が落ち着いた気持ちで一定時間活動できるように、容器にビー玉を押し入れたり(触覚)、音が出たり(聴覚)する好きな刺激を得られる活動を用意する。 T 3 	
		<p>《評価の視点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉や態度で手伝ってほしいことを伝えたり、友達の提案に相槌を打ったり共感した言葉掛けをしたりしている。 ・自分で判断して友達が持っている袋に新聞紙を入れたり、テープの端を押さえたりしている。 	
10:45 (10)	3 達成感を得て、次時への期待感が高まるように、本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学びを主体的に自分の言葉で表現したり実際にやってみせたりできるように、サンタにやり方を教える場面を設定する。 ・友達と協力することの良さを実感できるように、良い関わりがあった場面を写真で紹介したり、友達とのやり取りでどんな気持ちになったか問い掛けたりする。 T 1 ・今後の学習への期待感をもてるように、次時の活動や招待する他学年のことを伝える。 T 1 	

(3) 本時の評価

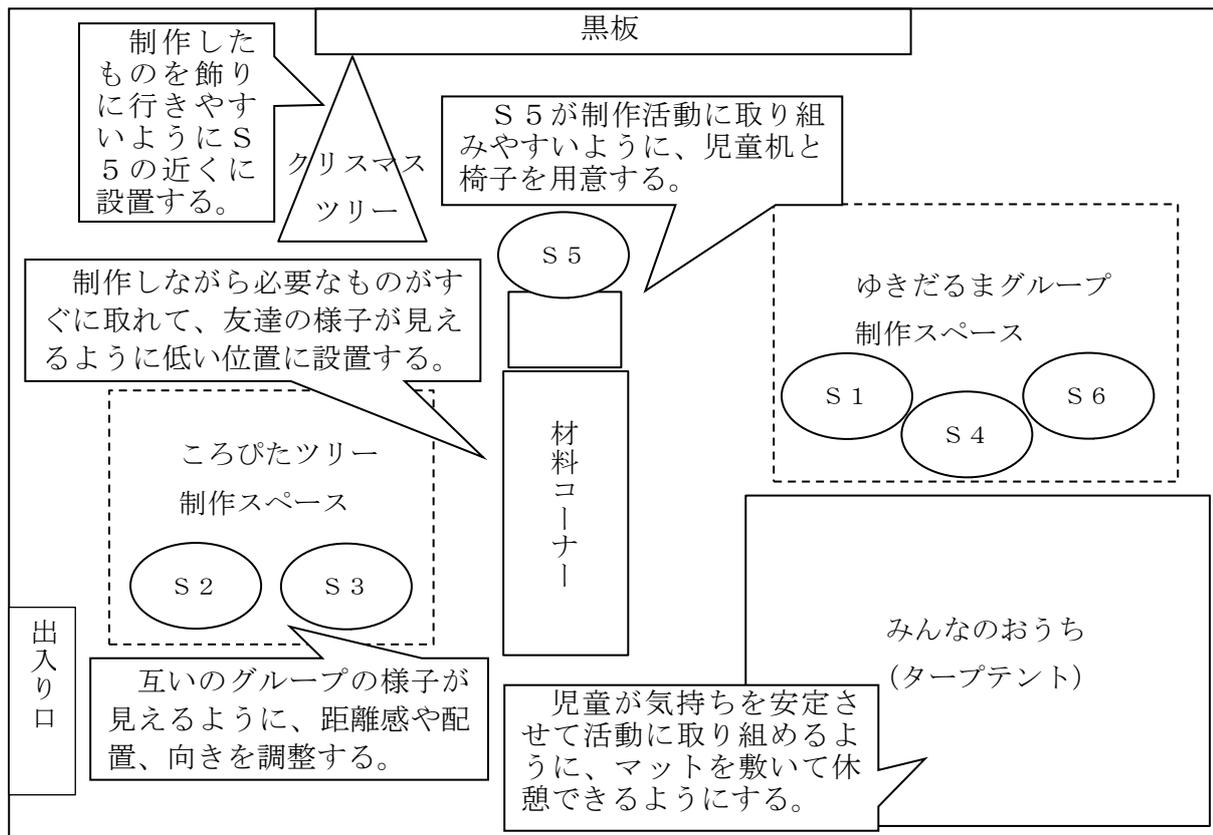
- ・児童が協力を依頼したり、受け入れたりして友達と一緒に制作するための教材や、教師の働き掛けは適切であったか。

(4) 環境設定について

〈教室〉



〈小学部多目的室〉



単元の目標

- ・身近な材料を用いた制作やそれらを使った遊びを通して制作活動の楽しさを感じ、友達と一緒に活動することの良さに気付くとともに、適切な接し方を知る。(知技)
- ・クリスマスランドに友達を呼ぶことに期待感をもち、招待した友達と一緒に楽しめるような工夫をしながら制作することで、自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりする力を育む。(思判表)
- ・より楽しいクリスマスランドを目指して、友達や教師に自ら働き掛けたり、友達からの依頼を受け入れたりしようとする態度を養う。(学人)

個別の目標と主な手立て

S 4 抽出 雪だるまグループ	本単元の児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に活動を好み、模倣する等して意欲的に活動することができる。 ・教師の促し等から活動の足がかりを得た後は、最後まで集中して参加することができる。 		
	本単元の目標	本時の目標	本時の目標に対する手立て	
	<ul style="list-style-type: none"> ・制作活動の楽しさや友達と一緒に活動することの良さに気付く。(知技) ・クリスマスランドや自分のグループの制作物の完成を目指して、友達の様子を見たり、まねたりしながら活動し、困った時には友達や教師に協力を依頼する力を育む。(思判表) ・友達の様子をまねたり、教師の言葉掛けを受けたりしながら、自ら制作活動に取り組み、友達に働き掛けようとする態度を養う。(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師の働き掛けを受け入れたり、協力を依頼したりしながら、グループの友達と一緒に雪だるまの置物を作る。(思判表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して参加できるように、活動の良さを言葉にして評価する場や機会を多く設定する。 ・自信をもって活動できるように友達と一緒にできる活動を用意する。 	
S 1 雪だるまグループ	本単元の児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・手先は器用ではないが、制作活動が好きで意欲的に取り組むことができる。 ・教師や友達と一緒に遊ぶことは好きだが、教師との関わりが中心で、自分から友達に働き掛けることは少なかったり、気持ちが不安定になると学習から逸脱したりすることがある。 		
	本単元の目標	本時の目標	本時の目標に対する手立て	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のイメージするものを制作することを通して、形になる喜びや友達と一緒に活動する良さに気付く。(知技) ・教師の言葉掛けを受けて友達の考えを受け入れながら、楽しいクリスマスランドを作ろうとする。(思判表) ・教師の言葉掛けを受けながら、友達に働き掛けようとしたり、友達と一緒に活動に取り組もうとしたりする態度を養う。(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達の働き掛けを受け、グループの友達と一緒に雪だるまの置物を作ろうとする。(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組めるように、児童の意見を制作の中に取り入れたり、友達との関わりをその都度称賛したりする。 ・安心して参加できるように、教師も一緒にグループでの制作に取り組む。 	

S 2 ツリー グループ	本単元の児童の実態		
	<ul style="list-style-type: none"> ・手先が器用で、浮かんだアイデアを実現しようと試行錯誤をしながら活動することができる。 ・自分の制作活動に没頭するあまり、友達との関わりが薄くなりがちである。 		
	本単元の目標	本時の目標	本時の目標に対する手立て
	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に制作する活動を通して、協力的に活動を進めるための関わり方を知ったり、協力することの良さに気付いたりする。(知技) ・招待した友達が喜ぶようなコーナーになるための工夫を考え実践する力を育む。(思判表) ・友達と一緒にやりとりをしながら制作する活動を通して、適切な言葉で関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の様子に目を配りながら、グループの友達と一緒に楽しめるゲームを作ろうとする。(思判表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のどんな活動が、招待した友達が喜ぶ視点になっているのか確認する。 ・どのような言葉を掛けると協力的に進めることができるか必要に応じて考えさせる場を設ける。
S 3 ツリー グループ	本単元の児童の実態		
	<ul style="list-style-type: none"> ・制作活動が好きで、意欲的に取り組むことができる。 ・制作場面のときに、一人で取り組むのは難しいと感じると、「手伝ってください」と友達や教師に働きかける姿が見られるようになってきた。 		
	本単元の目標	本時の目標	本時の目標に対する手立て
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を用いた制作活動を通して、友達と協力することの良さに気付く。(知技) ・クリスマスのイメージを基に、表したいことを思いつき、身近な材料を使い制作する力を育む。(思判表) ・制作活動を通して、友達や教師に自ら働きかけたり、友達からの依頼を受け入れようとする態度を養う。(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの友達に協力を依頼したり、受け入れたりしながら、「ころびたツリー」の遊び場を作る。(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・テープを貼る場所が分かるように、床に印を付ける。 ・協力を依頼したり、受け入れたりする言葉を確認できるように、協力する言葉が書かれた「なかよしことば」というボードを黒板に掲示する。
S 5 雪だるま グループ	本単元の児童の実態		
	<ul style="list-style-type: none"> ・プットインの学習活動を好み、穴の形に合わせて物を入れることができる。 ・学級を自分の居場所として賑やかな雰囲気を感じている様子も見られるが、他者への関心が薄く、自分から友達や教師に働き掛けることは少ない。 		
	本単元の目標	本時の目標	本時の目標に対する手立て
	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に制作する活動を通して、教師の働き掛けを受け入れるとともに作業に必要な姿勢や手指の適切な使い方を知る。(知技) ・身近な素材に触れながら、ちぎる、丸める、はる、入れるなどの楽しさを味わい、様々な場面で自分の要求を伝える方法の幅を広げる。(思判表) ・自分のやりたい活動を介して人との関わりに関心をもち、友達や教師に働き掛けようとする態度を養う。(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が差し出したビー玉を自ら手を伸ばして受け取り、容器に10個入れ、クリスマスランドの飾りを作る。(思判表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもって制作活動に取り組むことができるよう、児童にとって関心が高く、取り組みやすい活動を設定する。 ・良い行動には、表情や声のトーンを工夫して言葉や拍手で即時評価する。

S 6 雪だるま グループ	本単元の児童の実態		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のイメージを基に表したいことを思い付き、身近な材料を使って表現しようとするができる。 ・友達からの働き掛けを受け入れて、協力して制作活動に取り組むことができるが、自分から友達や教師に協力を依頼することは少ない傾向にある。 		
	本単元の目標	本時の目標	本時の目標に対する手立て
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を用いた制作活動を通して、友達と協力することの良さに気付く。(知技) ・クリスマスのイメージを基に、表したいことを思い付き、身近な材料を使い制作する力を育む。(思判表) ・より楽しいクリスマスランドを目指して、友達や教師に自ら働きかけたり、友達からの依頼を受け入れたりする態度を養う。(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの友達に協力を依頼したり、友達からの依頼を受け入れたりしながら、雪だるまの置物を作る。(学人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に必要な材料が分かるように、完成品となる見本を準備する。 ・友達に協力を依頼したり、協力を受け入れたりすることができるよう、「一人でできるかな」「○○さん困っているみたいだね」等と必要に応じて言葉を掛ける。

単元目標に含まれる各教科等の目標・内容

※文末の()は評価規準

生活 P551 (特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部))

知技：オ(イ)、カ(イ) 2段階

オ(イ) 身近な人との接し方などについて知ること。(知っている。)
カ(イ) 簡単な係活動などの役割について知ること。(知っている。)

思判表：オ(ア)、カ(イ) 2段階

オ(ア) 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする事。(しようとしている。)
カ(ア) 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとする事。(しようとしている。)

図画工作 P594 (特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部))

知技：Aア 2段階

A(イ) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすること。(している。)

思判表：Aイ 2段階

A(ア) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くこと。(思い付いている。)
--

自立活動 (特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編幼・小・中)

P67 人間関係の形成 (1)～(4)

(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
(2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
(3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
(4) 集団への参加の基礎に関する事。

P92 コミュニケーション (1)～(3)

(1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。
(2) 言語の受容と表出に関する事。
(3) 言語の形成と活用に関する事。



本単元の目標

・身近な材料を用いた制作やそれを使った遊びを通して制作活動の楽しさを感じ、友達と一緒に活動することの良さに気付くとともに、適切な接し方を知る。(知技)	生活 図画工作 自立
・クリスマスランドに友達を呼ぶことに期待感をもち、招待した友達と一緒に楽しめるような工夫をしながら制作することで、自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりする力を育む。(思判表)	生活 図画工作 自立
・より楽しいクリスマスランドを目指して、友達や教師に自ら働き掛けたり、友達からの依頼を受け入れたりしようとする態度を養う。(学人)	生活 図画工作 生活

本単元の目標に対する評価規準

・クリスマスランドの完成に向けて制作しそれを使って遊ぶことで、制作活動の楽しさに気付くいろいろな材料に触れて夢中になって制作に取り組んでいる。
・クリスマスランドの完成に向けて制作しそれを使って遊ぶことで、友達と一緒に活動することのよさに気づき、繰り返し友達に働き掛けている。(知技)
・クリスマスランドに友達を呼ぶことに期待感をもち、招待した友達と一緒に楽しめるような工夫をして自分から様々な方法を試したり、友達とやり取りをしながら制作したりしている。(思判表)
・より楽しいクリスマスランドを目指して活動に取り組む中で、友達や教師に提案したり支援を依頼する等して、自ら働き掛けたり、友達からの依頼を受け入れたりしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

抽出児童 S 4 の目標に含まれる各教科等の目標・内容

※文末の（ ）は評価規準

生活 P551 (特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部))

知技：オ (イ)、カ (イ) 2段階

オ (イ) 身近な人との接し方などについて知ること。(知っている。)
カ (イ) 簡単な係活動などの役割について知ること。(知っている。)

思判表：オ (ア)、カ (イ) 2段階

オ (ア) 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする事。(しようとしている。)
カ (ア) 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとする事。(しようとしている。)

図画工作 P594 (特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部))

知技：Aア 2段階

A (イ) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすること。(している。)
--

思判表：Aイ 2段階

A (ア) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くこと。(思い付いている。)

自立活動 (特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編幼・小・中)

P67 人間関係の形成 (1) ~ (4)

(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
(2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
(3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
(4) 集団への参加の基礎に関する事。

P92 コミュニケーション (1) ~ (3)

(1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。
(2) 言語の受容と表出に関する事。
(3) 言語の形成と活用に関する事。

本単元の目標



・制作活動の楽しさや友達と一緒に活動することの良さに気付く。(知技)	生活 図画工作 自立
・クリスマスランドや自分のグループの制作物の完成を目指して、友達の様子を見たり、まねたりしながら活動し、困った時には友達や教師に協力を依頼する。(思判表)	生活 図画工作 自立
・友達の様子をまねたり、教師の言葉掛けを受けたりしながら、自ら制作活動に取り組み、友達に働き掛けようとする態度を養う。(学人)	生活 図画工作 自立

本単元の目標に対する評価規準

・友達の様子に注意を向けたり、友達をまねて自分も同じ方法に取り組んだりしながら制作することで、制作活動の楽しさや、友達と一緒に活動する良さに気付いている。(知技)
・クリスマスランドや自分のグループの制作物の完成を目指して、同じグループの友達の様子を見てまねることで自身の役割を理解し、自ら行動しようとしている。
・困った場面で、支援が必要なこと(支援があればできること)を理解し、自ら友達や教師に支援を依頼している。(思判表)
・クリスマスランドや自分のグループの制作物の完成に向かって活動する中で、協力することのよさに気づき、友達に支援を依頼したり、依頼されたことに応じたりしながら取り組んでいる。(主体的に学習に取り組む態度)

